

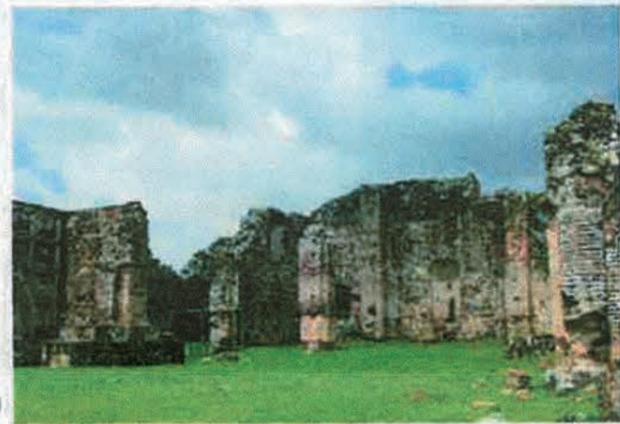
海ぞく今昔新聞

パナマ日本人学校
小学部六年
紀智方緒

海ぞくに焼かれた

世界遺産

ぼくが住んでいるパナマには、「ポルトベロ要塞」と「パナマビエホ」という世界遺産があります。この二つの遺跡はカリブ海で船が港をおそった海ぞくも深い関りがありません。



パナマカリブ海側の要塞

コロンブスがアメリカ大陸を発見した後、スペイン人は港を整備して植民地からスペイン人に物産や財宝を船で運んでいました。しかし、十

七世紀になると周りに海ぞくが現れ港もおそわれるようになりましした。それで、スペインは港の入口に要塞をつくるようになりました。

パナマのカリブ海側にある世界遺産「ポルトベロ要塞」



最初の町パナマビエホ

スペイン人はパナマのカリブ海側から陸地をわたり太平洋側に出て、最初につくった街が「パナマビエホ」です。スペイン人はこの町を基地にして、ペルーなどの国をほろぼして金銀などの財宝をうばい、陸路でカリブ海側に運び、そこから船でスペインに

インに運んでいたので。しかし、一六七一年にカリブ海に現れたイギリス人海ぞくヘンリーモーガンは、ポルトベロから上陸し、太平洋側の町パナマをおそい財宝をうばい町を焼き払ってしまいました。その町の遺跡も世界遺産になっています。

日本の海ぞく

倭寇

日本にも「海ぞく」はいたのでしようか調べてみると昔「倭寇」とよばれる海ぞくがいたことが分かりました。

「倭寇」とは、十四世紀から十六世紀室町時代にかけて、東アジアの沿岸をあらし回った海ぞくです。航行する貿易船の船荷をうばい、密貿易をしたり、人さらいや略奪をくり返していました。



現在の海でも 大きなきょうい

ソマリアの海でも

現在も、海でも
はいるのが、気
になって調べてみ
ました。するしア

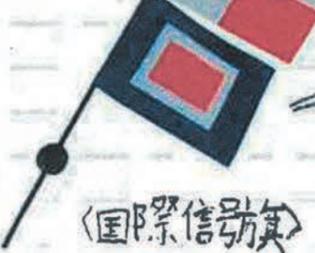
フリカのソマリア
沖に、海でもレが
現れていることが
わかりました。

日本の船にも被害が

アデン湾とイン
ド洋のソマリア周
辺の海では、ソマ
リア内戦が起こっ

ロケットランチャ
ーで攻撃したりリ
船員を人質にして
高額な身代金を要

た一九九十年代か
ら海での活動が
活発になっていま
す。この海でもは
ヨーロッパとアジ
アを結ぶ約二万せ
きの商船のきょう
いになっていまち
海での船は、



世界中の船が
安全に航行できる
ことを願います。

日本の船を守る自衛隊

日本は二〇〇九
年に自衛隊を派遣
できるようにして
陸空海の部隊をシ
ブチなどにおいて
この海域をとおる
船を守っています。



パナマ運河を自衛
隊の練習艦が通っ
た時に見学させて
もらいました。

スエズ運河を通れない

ソマリア沖の海
ぞくだけでなく、
イエメンの武装組
織「フーシ派」が
日本の船をあたう
事件が紅海で発生
しました。イステ
エルとフーシ派
が対立している
ことが原因ですが
スエズ運河を通る

とおそわれた可能
性があるので、多
くの船がアフリカ
の喜望峯を回るル
ートに変更してい
ます。

